



回 覧

第235号 (2025年2月)

『かんきょうかわら版』

愛南町環境衛生課 TEL 72-7316

町の廃食用油回収事業にご協力ください！

愛南町では環境保護と資源の有効利用のため、町内の一般家庭を対象に、家庭から出る天ぷら油などの「**植物性廃食油**」の回収事業を行っています。回収した廃食用油は、再資源化に取り組む事業者を引き渡しており、バイオディーゼル燃料などに精製され、家庭ごみとして処理するよりも環境にやさしい事業となっています。

※**鉱物油（エンジンオイル・機械油等）、水分が混入した廃食用油、事業用油は回収不可。**

油の出し方

- ◎ 食用油が入っていた容器（びん・缶は不可）に入れるか、ペットボトル（2リットルまで）に入れてください。
- ◎ 出す時には、天かす等の異物はこして取り除き、しっかりとフタをしてください。
- ◎ 未使用の物でびん・缶に入っている場合は、必ずペットボトルに移し替えてください。



しっかりとフタをします。
ラベルはついていても構いません。

回収場所

- ◎ 役場本庁、各支所、各公民館に設置している回収ボックスに持ち込みください。
詳しくは、環境衛生課(72-7316)までお問い合わせください。

地球温暖化で変わる日本の冬

近年、地球温暖化の影響で暖冬になることが増え、降雪量が減少していますが、本州日本海側の山岳部や北海道で大雪になるのはどうしてなのでしょう。一つの要因として、温暖化による気温上昇に伴い、日本近海の海水温も上昇し、暖かい海水から大量の水蒸気が供給されることが考えられます。そして、冷たい季節風により大量の水蒸気を含んだ大気がまとまり、大雪の原因となる雪雲を作ると言われています。

また、最近の研究では冬の平均気温が高くなると、10年に一度の大雪の危険性が5倍になると報告されており、地球温暖化は冬の気候にも大きな影響をもたらしています。



「愛南町の生物多様性を知り、未来の子供たちへつなげよう」

御荘文化センターで、学習講座が開催され環境問題に関心を持つ 20 人が参加しました。講座の冒頭では、「愛南町の生物多様性と地球温暖化」と題して、講師の愛南探検隊会長橋越清一さんから、愛南町の豊かな自然や自身の調査活動についてお話いただきました。「町内には、愛媛県の絶滅危惧種が 370 種以上生息している。地球温暖化により、生物のフェノロジカルミスマッチが起こる可能性が大きくなっている。生物多様性は人類の財産であり、それを評価し、保全することが重要である。」と説明がありました。

ヒナノボンボリ



- ・愛南町固有種
(愛南町が模式産地)
- ・1988 年に兵頭正治氏
(愛媛植物研究会)が発見



成人学習講座
令和 6 年 12 月 22 日 (日)
生涯学習課
環境衛生課

※フェノロジカルミスマッチは、生物が季節の変化に適応するタイミングがずれてしまい、環境とのズレが生じる現象です。このズレは、特に気候変動によって顕著になり、繁殖や生存に悪影響を及ぼすことがあります。

愛南町では、1993 年(平成 5 年)以降、年平均気温は上昇傾向にあり、1993 年の平均気温は 16.2℃、2022 年は 17.5℃と 1.3℃上昇しています。

IPCC (気候変動に関する政府間パネル) が公表した報告書によると温暖化対策をとらなかった場合、今世紀末までに 1850 年頃から比べ、3.3℃~5.7℃の気温上昇が予測されています。これ以上気温を上昇させない為、自分たち一人一人ができる温暖化対策を話し合ってみました。



家庭での温暖化対策

- ・服装を調整し、エアコン等の使用を少なくする。
- ・マイボトル、マイ箸を利用する。
- ・電気、水道をこまめに消す、止める。

・ごみを分別し、生ごみコンポストを活用するなど、ごみをなるべく減らす。

- ・化学洗剤の使用を控える。
- ・家の窓を保温改修する。
- ・太陽光発電を利用する。

職場・学校での温暖化対策

- ・エアコンの温度設定を適正に管理する。
- ・服装で体温調整をする。
- ・グリーンカーテンを利用する。

- ・空き部屋の電灯やエアコンは消す。
- ・省エネの服装で、通勤、通学を車から自転車へ変更する。
- ・敷地内に植樹、野菜、果樹づくりする。

外出中での温暖化対策

- ・健康のことも考えて、歩いて行けるところは、なるべく歩いて行く。
- ・移動は徒歩、車はエコ運転。

- ・冷暖房利用を控える衣類の着方を考える。
- ・SNSの撮影のために木の枝を折らない。
- ・公共交通機関に頼らず自分の足で移動する。
- ・水筒、エコバックを使用。

※成人学習講座の様子は愛媛 CATV でご覧いただけます。